



ふれあい通信

No.1 2022. 5. 13発行

5月の爽やかな風が心地よく感じられる頃となりました。日頃は適応指導教室「ふれあい学級」の活動にご理解ご協力くださりましてありがとうございます。さて、令和3年度の不登校実態調査の結果をお知らせします。担当の先生方には、年度末で大変お忙しい中、お世話になりました。

不登校実態調査 令和4年3月31日集計

	小学校							中学校				小・中 合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
男子	5 (2)	4 (1)	3 (1)	5 (1)	9 (1)	6 (3)	32 (9)	11 (0)	24 (1)	24 (0)	59 (1)	91 (10)
女子	7 (1)	4 (2)	6 (0)	9 (4)	10 (0)	10 (1)	46 (8)	11 (1)	29 (0)	19 (0)	59 (1)	105 (9)
合計	12 (3)	8 (3)	9 (1)	14 (5)	19 (1)	16 (4)	78 (17)	22 (1)	53 (1)	43 (0)	118 (2)	196 (19)

※()の中はトエック、フリースクール等に通っている児童生徒数です。

この3年間の推移を見ると、令和元年度末 89名、2年度末 149名、3年度末 196名（小中合わせて）と増加傾向が明らかになっています。なお、3年度のふれあい学級入級者数は 29名で、不登校児童生徒の中の一部のみが利用しています。

ふれあい学級とは

さまざまな理由で、小中学校に登校することが困難になっている児童生徒のために、学校に籍を置いたまま一時的に通級するところです。体験活動や学習活動などを通してコミュニケーション力や自主性を養い、心のエネルギーを高めると共に、自立への支援を行うことを目的としています。

はぐくみ座談会

「ふれあい学級」への通級の有無に関わらず、保護者や本人を対象とした教育相談を今年度も 10 回程度、開催予定（16:00～17:00）です。ふれあい学級担当のスクールカウンセラー（加藤 SC）も出席しますので、お子様のことで悩んでいる保護者の方がおいでましたら、お声がけくださいますようお願いいたします。

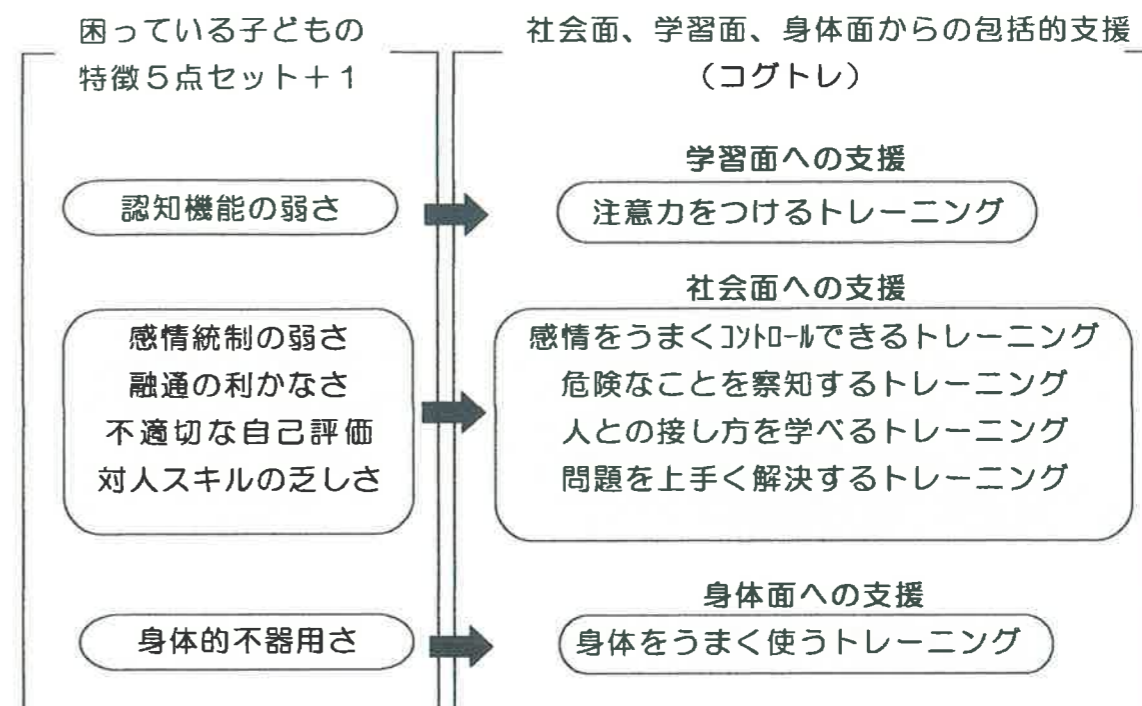
また、各回とも、ご希望があれば学校の先生方もご出席できます。夏季休暇中には、教員を対象とした座談会も開催しますので、是非、ご出席ください。

不登校支援の手引き—適応指導について—

ふれあい学級の活動内容や、入級手続きなどを記載しています。5月20日（金）の第1回適応指導連絡協議会で説明をさせていただきます。

コグトレ

今回はふれあい学級での特色ある活動についてお知らせします。昨年度から月に2回、講師の三木先生をお招きし、楽しくコグトレをしています。次の図は、コグトレが必要な子どもの特徴やその支援内容について示したものです。



※「1日5分 教室で使えるコグトレ 困っている子どもを支援する認知トレーニング122」、宮口幸治、東洋館出版、2016 年より

※第2回の適応指導連絡協議会では、コグトレについての研修を行います。

令和4年度 適応指導教室指導員

船崎 益義（室長） 幸坂 品子（副室長） 柳本 妙子（指導員）



不登校についてのご相談は

阿南市適応指導教室『ふれあい学級』 TEL・FAX 22-1250

相談時間 月曜日～金曜日〔9:00～16:00〕